

令和7年度学校評価結果報告書

桶川市立川田谷小学校

校長 赤羽 広美

1 目指す学校像 きき合い つながり合い 学びを楽しむ 川田谷小

2 評価結果

領域	No.	評価項目	自己評価		学校関係者評価 または 学校運営協議会における評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・運営	1	学校は、学校教育目標の達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	A	・目指す学校像「きき合い つながり合い 学びを楽しむ 川田谷小」の更なる具現化に向け、教職員が「学びの共同体」に基づくグループ学習を主体とした指導方法を共通理解しながら取り組んでいる。	・目標達成に向けて教職員一同が常に努力されている。 ・子供たちが教えたり教わったりしながら学び合う姿が見られる。
	2	学校は、PDCAのサイクルのもと学級経営・教科経営・分掌経営にあたっている。	A	・年間指導計画に基づいた教育を確実に実施した。 ・児童や教職員が理解し、行動しやすい日課表に変更する等、教育活動の改善を図った。	・災害、事故、トラブルに対し全職員で迅速に対応できるよう取り組んでほしい。 ・下校時の校庭開放について、安全面の配慮をお願いしたい。
	3	学校は、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応できる体制を整えている。	A	・生徒指導推進委員会や教育相談研修会を通して職員全体が共通理解・共通行動し、迅速な初期対応をとることができた。	・下校時の雷対応が良かった。
学習指導	4	学校は、学習内容の定着を図るため、児童の実態に基づきながら「学びの共同体」による授業改善を行っている。	A	・「学びの共同体」に基づき全クラスでグループ学習を行い、児童相互の学び合いを主体としながら学習内容の定着を図るとともに応用的な問題である「ジャンプ問題」に取り組み活用力を指導した。 ・グループ学習を通して学力の基盤を形成する人間関係も育成し、児童相互が互いのよさを認め合う学級風土づくりに取り組んでいる。	・学びの楽しさに向け、教職員一同が常に努力されている。素晴らしいことだ。 ・授業参観から見て、子供たちが一生懸命に学習に取り組んでいる様子が伝わってきた。 ・学校生活が楽しいようだ。 ・成績の差が開かないように、できない児童がいないか確認をお願いしたい。
	5	学校は、一人一人に応じた学習支援を行っている。	B	・グループ学習とともに算数の少人数指導や個別支援も併せて行い、児童一人一人に寄り添った指導を行った。	・授業中の空気が明るい。

	6	学校は、言語環境の整備に努め、言語活動を充実させ、児童が楽しく学べるような授業展開に努めている。	A	・グループ学習を通じた児童相互の学び合いで、主体的・対話的な学びを積極的に授業に取り入れ、言語活動の充実を図った。	
生徒指導・教育相談	7	学校は、児童が進んであいさつ、正しい言葉づかいができるように取り組んでいる。	B	・朝のあいさつ運動に年間を通して取り組んでいる。授業の開始、終了時の挨拶や教師の丁寧な言葉遣いは、全教職員が共通行動できた。	・川小の子供たちは常にしつかりと挨拶ができています。 ・今後も、全職員で組織的にいじめや不登校の早期発見・解消に努めていただきたい。
	8	学校は、日常観察や教育相談を通じて、いじめや不登校の早期発見、解消に努めている。	A	・いじめ防止対策基本方針を改定し、それを全教職員共通理解のもと、迅速な組織的初期対応により、いじめや不登校の早期発見、解消に努めることができた。	・ネットや SNS トラブルにも十分注意してほしい。 ・いじめや不登校がない学校として誇りがもてる。
健康教育	9	学校は、児童の体力向上のため、体育授業や外遊びの奨励等に積極的に取り組んでいる。	B	・児童が主体的に取り組むマラソン練習や、体育授業の充実等により、体力の維持向上を図ることができた。	・体育の学習で体力作りに力を入れていることがわかる。 ・児童一人一人がバランスよく栄養を摂る大切さと食に関する指導が行われている。
	10	学校は、児童に食のバランスのとれた食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めさせている。	A	・給食指導や生活科、家庭科等で食に関する指導を行い、一人一人の児童がバランスよく栄養を摂る大切さを理解させるため、食に関する指導を行っている。 ・給食メニューを、毎日ホームページに掲載し、食に関して保護者・地域への啓発を行った。	・先生が、体を動かせるように取り組んでくれている。
学習環境	11	学校は、計画的・継続的に掲示物を整え、児童の学習環境を整えている。	B	・各月の生活目標を各教室に掲示して毎日児童に意識させ、教室の掲示物は、児童の学習に合わせて計画的に整えている。また、教室前面の掲示は最小限にし、児童が学習に集中できるようにした。	・施設設備の点検と危険箇所の点検を全職員でしっかりと実施していただきたい。 ・気になるところはなかった。
	12	学校は、施設設備の点検を実施し、危険箇所の改修に努めている。	A	・毎月の安全点検や施設設備使用時の不具合等を迅速に改善するように努めている。	

教職員 の 資 質 向 上	13	学校は、積極的にサービスの 厳正や情報管理などの事 故防止に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理確立委員会を職集時に行うとともに、 新聞報道された教職員事故を中心に教職 員に随時紹介し、教職員事故に対する当 事者意識を高めることで事故防止に努め ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・川小の教職員は、公務員と しての自覚をもって服務規 律を守り、職務に取り組み られている。 ・良い意味で公務員の枠にと らわれず活動していると思 う。 ・先生みんなが笑顔なのが良 い。
	14	学校は、校内研修等を充 実させ、教職員一人一人 の資質向上を図ってい る。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校課題研究「主体的に判断し、よりよ い人間関係を築くことができる児童の育 成～『学びの共同体』を要として～」で は、グループ学習の指導方法を共通理解 し、学力の育成とともに、よりよい人間 関係作りに活かすことができた。 	
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	15	学校は、学校だより、学年 だより、HP、情報メール等 で、保護者や地域に適切 な情報発信をしている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、学校だより・学年だよりを発行し 家庭・地域に情報発信した。 ・学校ホームページを毎日更新し、最新情 報の発信に努めた。 ・適宜、情報メールを活用し、保護者や地 域に最新情報の発信を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報メールは大変効果的 である。今後も活用してい たきたい。 ・学校応援団の活動と地域か らの情報などもしっかりと 活用してほしい。 ・地域とのふれあいを大切に して行ってほしい。 ・スポーツ協会への協力に感 謝している。
	16	学校は、学校応援団、ゲス トティーチャー等、地域の 教育力の活用に積極的 である。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校応援団の皆様には環境整備・登下校の 見守りをしていただいた。 ・学校応援団（学習支援）やゲストティー チャーとして和風作りや「昔のくらし」、 「万作踊り」に取り組み、貴重な体験学習 をしていただいた。 	
	17	学校は、PTA 活動や地域 活動に協力している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会での協議等により、学校 と家庭・地域が連携して児童の安全と健 全育成を行っている。 	

*評価項目については各学校で領域ごとに項目を2～3設定する。